

避難行動判定フローチャート

ハザードマップで自宅の災害リスクを確認しましょう。

下のフローで避難を開始するタイミングを確認しましょう。「どこへ避難するのか」も検討しましょう。

合わせて、我が家の避難計画（マイ・タイムライン）を作成しましょう。

避難行動判定フロー

①あなたの家はどこですか？

ハザードマップであなたの家を探して、予想されている浸水や土砂災害区域に入っているか(浸水深は何mになるか、土砂災害は警戒区域か特別警戒区域かなど)を確認しましょう。

②避難先はどこですか？

目標とする避難先を確認して、安全な避難経路を考えてみましょう。浸水や土砂災害の区域にかかる道路や橋、地下道、狭い道路は避ける経路を選んでおきましょう。

③実際に歩いてみよう！

避難経路の確認のため実際に避難先まで歩いてみましょう。ハザードマップを持って危険なところを確認しながら歩き、安全で避難しやすい経路、所要時間を確認してハザードマップに書き込みましょう。

平常時に確認

避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？ 必ず取り組みましょう

ハザードマップで自分の家がどこにあるか確認し、印をつけましょう。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖の近くなどにお住まいの方は、市からの避難情報を参考に、必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として立退き避難が必要です。ただし、着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

例外

浸水区域であっても、
①浸水する深さよりも高いところにいる。
②浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食料などの備えが十分にある場合は、屋内安全確保（自宅に留まり安全を確保すること）も可能です。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル3高齢者等避難がでたら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう（日頃から相談しておきましょう）

いいえ

警戒レベル3高齢者等避難がでたら、市が指定する避難所に避難しましょう。

いいえ

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル4避難指示がでたら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう（日頃から相談しておきましょう）

いいえ

警戒レベル4避難指示がでたら、市が指定する避難所に避難しましょう。

「避難行動判定フロー」の行動は、あくまでも参考例です。危険を感じたら、すぐに避難しましょう！

我が家の避難計画（マイ・タイムライン）

マイ・タイムラインは住民一人ひとりのタイムラインであり、台風の接近等による風水害が起こる可能性があるときに、自分自身がとる標準的な防災活動を時系列的に整理し、とりまとめるものです。

一人ひとりの家族構成や生活環境に合わせて、「いつ」「誰が」「何をするのか」をあらかじめ時系列で整理しておくことでスムーズな防災行動を実施することにつながります。

マイ・タイムラインを作成することで、それぞれの避難に必要な情報・判断・行動を把握し、「自分の逃げ方」を見つけましょう。

マイ・タイムラインの用紙は
塩尻市公式ホームページ
からダウンロードできます。

●塩尻市災害タイムライン
（防災行動計画）

●塩尻市マイ・タイムライン



●塩尻市水害タイムライン
（奈良井川）（田川）



●塩尻市災害タイムライン
（台風・土砂災害）

（台風・洪水・浸水）

